



まもる!

東京都立多摩桜の丘学園
生活指導部より
令和4年12月13日発行
第7号 校長 伴 光明

■ 本号では、第2回「いじめの早期発見・早期対応に向けた児童・生徒アンケート調査」の結果を報告いたします。調査の実施後「学校いじめ対策委員会」で内容・結果を検証し、本校でのいじめの認知件数は「0件である」ことを報告いたします。また、11月のふれあい月間(「心を育てる教育」)の取組を紹介いたします。今後も引き続き健全育成の充実に努め、「いじめ0」「体罰0」の学校づくりに全校をあげて推進してまいります。

いじめの早期発見・早期対応に向けた児童・生徒アンケート調査の報告

「いじめ0」を確認しました

- 調査の結果、各設問に対して「ある」「嫌な思いをしたことがある」などの回答は0件でした。また御家庭からの回答票は、0件でした。
- 以上の内容について、「学校いじめ対策委員会」で検証した結果、今回のアンケート調査では、「いじめ」と認められる事案はなかったことを確認しました。言葉のやりとりや行動、SNS利用のルールやマナーについては、引き続き見守りながら指導を継続してまいります。また、1月予定の第2回「学校サポートチーム」において、今回の調査結果を報告いたします。
- 今後も各御家庭に個別の開示を行い、保護者の皆様により御理解・御納得を頂ける調査を目指してまいります。

「やぎさん郵便」について

11月は、「ふれあい月間」健全育成取組の強化月間です。取組には、「形に残るコミュニケーション」「日常生活学習の取組」「読書活動(学校図書館利用)」、「安全教育」と4つの柱があります。

「形に残るコミュニケーション」は、手紙を書いて自分の思いを伝える本校独自の活動です。手紙を書いて、校内ポスト(右写真)に投函すると、「やぎさん」の消印が押されて相手に届きます。自分あてに届く手紙はとても嬉しく笑顔一杯になります。また、手紙を家庭に持ち帰り家族と共に喜び楽しめる、これが「やぎさん郵便」です。今年度は11月だけで「261通」、4月～11月の累計「1068通」のやぎさん郵便が投函されました。

「やぎさん郵便」のスタートは、平成29(2017)年12月です。当時インフルエンザが流行し、それまではI部門とII部門は、自由に行き来していましたが、感染症対策として、「部門間の直接交流を見合わせる」こととなり、間接交流の手段として誕生しました。以来、新型コロナウイルス感染拡大の間も「やぎさん郵便」は、校内交流だけでなく、他校との交流も支えてきたのです。

「やぎさん郵便」ポスト(職員室前)



これからも、永く大切に育てていきたい活動です。

「心を育てる教育」ふれあい月間(11月)の取組 ～育てよう・咲かせよう笑顔の花～「自尊感情」や「自己肯定感」をはぐくむために

多摩桜祭を通して「やぎさん郵便」をたくさん利用しました。

< I 小学部 > 多摩桜祭の作品を鑑賞し感想を「やぎさん郵便」ポストに投函しました。体育館での買い物では、中学部・高等部の先輩達とやり取りを楽しみながら買い物できました。

< I 中学部 > 多摩桜祭の展示を鑑賞し、感動した作品の作成者にお手紙を書きました。代表生徒が、学習グループのみんなの手紙を「やぎさん郵便」ポストに投函しました。

「ダルニー奨学金」は、東南アジア5か国の中学生の就学支援を目的とした募金活動です。I部門で取り組んでいます。

< I 高等部 > 多摩桜祭では、来校者に募金活動の呼びかけをしました。年度末に生徒会から、年間を通した活動金額を募金します。

< 島田分教室 > 島田療育センター内に「書き損じ葉書き」のポストを設置しました。お知らせ等の宣伝効果で多くの葉書が集まりました。

学校図書館利用の「読書活動」

< II 小学部 > 図書館利用のマナー「本を大切に」「静かに利用する」を練習中です。自分が好きな本を見つけ楽しめます。興味が広がりました。

「日常生活学習」の取組
ゴミの弁別活動も学習中です。

< II 中学部 > 教室から離れる時には、「机に椅子をしまおう」、「昼休みに教室を清掃する」など、身の回りの「整理整頓」を学習中です。

「あいさつ運動」ふれあい月間の取組では校内で行いました。

< II 高等部 > 登校時間帯に「あいさつ運動」を実施しました。スクールバスから降りてきた皆に積極的に挨拶をすると元気な挨拶が返ってきました。

